

第4期「日野人げんき！」プラン

令和3年度進捗状況評価報告



日野市健康福祉部健康課

【第4期「日野人げんき！」プランについて】

設定期間: 令和3年度(2021年度)～令和7年度(2025年度)までの5年間

≪目的≫ 健康寿命の延伸のための取り組みの推進

〔取り組みの方向〕 ヘルスケア・ウエルネス戦略

上記を掲げ大目標1～3を設定

大目標の下に中目標を設定し、中目標に対する進行管理を行います。

【令和3年度評価の方法について】

・評価体制: 『主管課評価』 → 『評価推進委員会』の2段階で実施。

『主管課評価』 取り組みを担当している課が評価

『評価推進委員会』 「日野人げんき！」プラン 評価実施要綱に基づいた構成メンバー

- (1) 公募による市民代表3名
- (2) 医師会推薦1名、歯科医会推薦1名、薬剤師会推薦1名
- (3) 日野市職員3人…健康福祉部長、子ども部長、教育部長

・評価の基準: 下記3段階で設定

○ : 現状値より増えた

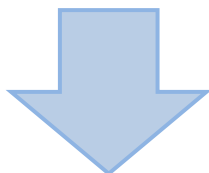
△ : 現状維持

× : 現状値より減った

令和3年度評価内容

主管課評価

- ・主管課が本プランで設定した数値目標（健康指標）を含め中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・主管課での評価結果は10の中目標に対し「現状値より増えた：○」・・・2、「現状維持：△」・・・5、「現状値より減った：×」・・・3
- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当初目標としていた数値に届かなかった項目もあった。ただ、その中で感染症対策を施し、事業を実施していくことはできた。



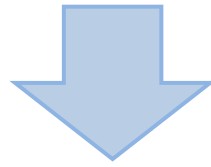
評価推進委員会

- ・新型コロナウイルス感染症拡大を配慮し、書面での評価推進会議を開催。各委員からの意見をまとめ評価結果とした。
 - ・上記「主管課評価」をふまえ、中目標の達成状況についての評価を行った。
 - ・「評価推進委員会」の審議結果報告を受け、令和3年度の評価結果として市民へ公表していく。
 - ・評価推進委員会での評価結果は10の中目標に対し、「現状値より増えた：○」・・・2、「現状維持：△」・・・6、「現状値より減った：×」・・・2
- 新型コロナウイルスの影響により、目標値に届かなかった事業もあったが、コロナ禍における取り組みの工夫についてなど、評価いただいた部分もあった。
- ・「評価推進委員会」の各中目標の結果は次ページ『第4期「日野人げんき！」プラン令和3年度評価概要（評価推進委員会）』を参照してください。



裏ページへ

つづき



評価推進委員会評価結果を受けて

- ・令和2年度から引き続き新型コロナウイルスの影響を受け、目標値に届かなかった項目が大部分を占めた。しかし、そのような状況でもコロナ禍における、事業実施の工夫がみられたことは評価された。課題を指摘されている項目については、新型コロナウイルスの影響を踏まえつつも、ウィズコロナ、アフターコロナの視点を持った事業展開が必要とのご意見もあった。
- ・「評価推進委員会」の評価結果をもって各主管課にフィードバックします。本評価を含め主管課で検討し、今後の取り組みや改善につなげていきます。

第4期「日野人げんき！」プラン令和3年度評価概要（評価推進委員会）

・評価の基準：下記3段階で設定

○：現状値より増えた

△：現状維持

×：現状値より減った

大目標	中目標	中目標への 令和3年度評価	令和3年度評価と課題
1、健康づくりを推進します	1 日頃から感染症の発生及び蔓延を予防していく体制を推進します	○	【評価】 新型コロナウイルス感染症に関する情報は、適時にきめ細かく発信されており評価します。 【課題】 ・情報量が膨大になってきており、少し分かりにくい部分も感じます。 ・より伝わりやすい様、図や表の活用を検討していただければと思います。
	2 生活習慣病予防を推進します	×	【評価】 新型コロナ感染拡大の影響が大きいため、目標に届かないことは仕方ないと思います。 【課題】 ウィズコロナ、アフターコロナの視点で、実施内容や周知方法の更なる見直しにも取り組んでいただきたいと思います。
	3 高齢社会を地域で支えるための「健康づくり」を推進します	△	【評価】 現状の厳しい状況の中でも、申し込み者5人、その内2人が新規登録された事を評価します。 【課題】 ・負担感なく実施できる支援を具体的に検討し新規登録数の増加に取り組むとともに、運動メニューの情報発信の方法を工夫し、必要な方に必要な情報が伝わるよう工夫と改善に努めてください。 ・サポーターの新規登録は、もう少し努力願います。
2、がん対策を推進します	1 がんの予防を推進します	△	【評価】 ・人の集まるイベント開催が難しい中でも、いろいろな場所での情報発信に努力されていると思います。 ・禁煙教育の実施回数が増えたこと、市内中学校に出向いての乳がん集団検診の実施は評価できます。 【課題】 禁煙教育、特に若年者へのさらなる促進をお願いします。
	2 がんの早期発見を推進します	×	【評価】 ・目標達成とはいかなかったが、現状を考えると仕方ないと思います。 ・LINEを利用したの発信方法はとても良いです。 【課題】 他市などの実施方法などの情報を参考にし、問題点を探すなどの努力が必要です。
	3 がんとの共生を図ります	△	【評価】 厳しい状況にも関わらず、色々な工夫の結果で、目標の団体を増やす事が出来たのは評価します。 【課題】 新たな連携機関との発信や課題を達するために必要な具体的方法を検討し、取り組んでいただきたいと思います。
3、歯とお口の健康づくりを推進します	1 【妊娠期】妊娠期からかかりつけ歯科医を持ち、母子共に健康なお口を育てられるよう推進します	△	【評価】 コロナ禍で歯科受診を控える人が多い現状にも関わらず、少しでも目標をクリアしたことは評価できます。 【課題】 生まれてくる子どものむし歯のリスクを軽減するためには、家族全員がかかりつけ歯科医をもち、家族全員でむし歯予防に取り組むことの必要性を周知するなど、かかりつけ歯科医の定着にむけ動機付けの工夫をお願いします。
	2 【乳幼児期】むし歯のない健康なお口を持つ子どもの育成に取り組めます	△	【課題】 ・かかりつけ歯科医は、長年つきあい・信頼がうまれなければ見つかりません。 ・保護者への情報発信を引き続きお願いします。 ・他自治体の取り組みなどを参考に、様々な手法にチャレンジしていただきたいと思います。
	3 【学齢期・成人期】子どもの歯肉炎予防・成人の歯周病予防に努めます	○	【評価】 コロナ禍の影響が大きい中で各項目とも概ね良い実績を上げていると思います。 【課題】 「お口の健康診査」ではここ数年のコロナの影響で受診抑制が続いているが引き続き続けることで市民への周知も実ってくると思います。
	4 【高齢期】口腔機能の維持向上を推進します	△	【評価】 努力されていると感じます。新たな活動に期待しています。 【課題】 高齢者の保健事業と介護の一体的事業によるハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチによる取り組みを推進し、事業内容の拡大にも努めてください。

< 評価詳細 >

・評価の基準: 下記3段階で設定
「○」 現状値より増えた
「△」 現状維持

中目標	担当	指標	現状値 (令和元年度)	最終目標値	令和3年度実施計画 【最終目標値達成のために実施する 事業(業務内容)】	主管課評価				評価推進委員会		
						令和3年度 実績	実施内容 【目標達成のために実施した事業】	達成状況と課題	評価	評価と課題	評価	評価と課題
1	健康課	感染症情報のホームページ更新回数	0回	増やす	感染症に関する最新の情報を、タイムリーに情報発信し、正しい知識の普及や感染予防行動がとれるよう周知を図る。	422回 (予防接種に関する こと10件、新型コロナ に関する情報発信 154件、日報・月報 258件)	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症発生時の対応としては、国や都からの通知に合わせ、最新情報をタイムリーに情報更新した。また市内の感染状況に関しても日報・月報の更新を行い感染状況の周知を行った。 ●その他の感染症に関しても、適切な時期に予防接種や感染症における最新の情報発信を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年よりホームページの更新回数は大幅に増加しており、目標は達成できた。 ・新型コロナウイルスが収束した場合、更新回数は減少する可能性も考えられる。 ・回数だけではなく、タイムリーに行うことも指標の一つとして捉え、継続して情報発信を行う。 ・また、その他の感染症や、予防接種に関する情報発信も引き続き適切な時期に行う。 	○	<p>【評価】 新型コロナウイルス感染症関連については、タイムリーに情報発信がなされ評価できるものとする。</p> <p>【課題】 今後は、その他の感染症についても同様な意識を持ってタイムリーに情報発信していくことに努める。</p>	○	<p>【評価】 新型コロナウイルス感染症に関する情報は、適時にきめ細かく発信されており評価します。</p> <p>【課題】 ・情報量が膨大になってきており、少し分かりにくい部分も感じます。 ・より伝わりやすい様、図や表の活用を検討していただければと思います。</p>
2	健康課	健康教育事業実施回数	19回	増やす	これまでの健康教育をコロナ対策を講じながら実施するとともに、令和4年度以降も事業の中で健康教育について企画を行う。	4回	<ul style="list-style-type: none"> ●日野人げんきゼミナール(地域に向いての健康教育)にて、糖尿病予防の啓発グッズを配布し、知識の普及を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、健康教育の機会が減ったが、コロナ対策を講じながら実施していく。 	×	<p>【評価】 健康教育事業については、新型コロナウイルス感染症の中でも、感染症対策を徹底して、可能な限り実施できた。特定健診受診率については、新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響があった令和2年度と比較し、令和3年度はある程度コロナ禍以前の受診状況に戻りつつある。</p> <p>【課題】 今後も、感染症対策を徹底しながら、生活習慣病予防の推進にむけ取り組んでいく。</p>	×	<p>【評価】 新型コロナ感染拡大の影響が大きいこと、目標に届かないことは仕方ないと思います。</p> <p>【課題】 コロナ対策に万全を講じ、実施内容や周知方法の更なる見直しにも取り組んでいただきたいと思っています。</p>
	健康課	特定健診受診率	46.3%	増やす	若い世代(40~64歳)の受診率が低いこと、例年送付している勧奨通知のほかに、市LINEを使って、未受診者勧奨を行う。また、状況を見て、65歳以上の人にもLINEにて未受診者勧奨を実施する。	44.9%	<ul style="list-style-type: none"> ●電話による勧奨については、自動音声のメッセージを、より受診勧奨効果を見込めるように検討し変更を行った。 ●保険証の更新の際、更新対象である24,328世帯 34,752人に対し、令和3年9月9日・9月13日に保険証の書類に同封で勧奨文書を送付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の43.2%よりは増加しているものの、R1年度の受診率には及ばず新型コロナウイルスの影響によるものだと考えられる。 ・感染症流行時であっても、健診の必要性を周知啓発していく。 	×	<p>【課題】 今後も、感染症対策を徹底しながら、生活習慣病予防の推進にむけ取り組んでいく。</p>	×	<p>【課題】 コロナ対策に万全を講じ、実施内容や周知方法の更なる見直しにも取り組んでいただきたいと思っています。</p>
3	健康課	健康体操サポーター新規登録数	3人	増やす	令和3年度体操サポーター申し込み者が新規登録となるように支援する。	2人	<ul style="list-style-type: none"> ●申し込み者が、不安なく養成講座を継続できるように、積極的に声掛けを行った。また、コロナ禍であり、養成講座自体の回数減少があったが、申し込み者に対して従来に近い講座の受講ができるよう配慮した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初、申込み者は5人いたが、家庭の事情等で3人が辞退し、令和2年度に比べて、新規登録人数は減少した。 ・申し込み者を含め体操サポーターへの心理面や体調面に対する支援は継続していくが、申込み後、一定数の途中辞退が見込まれるため、新規申込み者数自体を増やすことができるよう募集方法を工夫していく。 	×	<p>【評価】 健康体操サポーター新規登録数については、いかに負担感なく実施していただけたかが重要である。そのため、支援を充実し、少しでも参加者が増えるよう努力をしていく。</p> <p>【課題】 運動継続期間が5年以上については、コロナ禍の影響は否めない部分はあるものの、情報発信の仕方によって、きっかけづくりは可能と考える。また、コロナによる自粛生活も、ある程度解放されつつある社会情勢を見極め、感染対策を施した事業展開を図る。</p>	△	<p>【評価】 現状の厳しい状況の中でも、申し込み者5人、その内2人が新規登録された事を評価します。</p> <p>【課題】 ・負担感なく実施できる支援を具体的に検討し新規登録数の増加に取り組むようもう少し努力願います。 ・運動をさらに継続していくために自分で気軽にできるメニューなど情報発信の内容や方法を工夫し、必要な方に必要な情報が伝わるよう改善に努めてください。</p>
	健康課	運動継続期間が5年以上の方	64.4%	増やす	コロナ禍であっても自宅で行える運動メニューの情報を発信していく。	- (調査未実施のため)	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響で中止や長期休みになった体操事業の参加者に向け、フレイル予防のために自宅で行える運動を掲載したりフレットを送付した。 ●広報で運動についてのコラムを掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信は行うことができた。 ・自宅でできる運動メニューについては、体操事業の参加の有無に関わらず情報発信を継続していく。 ・コロナ禍でも感染予防対策をしながら通常生活に戻していくことの必要性がいわれられており、今後は自宅での運動に限らず、市民の運動のきっかけづくりと継続のために、事業見直しの必要がある。 	×	<p>【課題】 運動継続期間が5年以上については、コロナ禍の影響は否めない部分はあるものの、情報発信の仕方によって、きっかけづくりは可能と考える。また、コロナによる自粛生活も、ある程度解放されつつある社会情勢を見極め、感染対策を施した事業展開を図る。</p>	△	<p>【課題】 運動継続期間が5年以上については、コロナ禍の影響は否めない部分はあるものの、情報発信の仕方によって、きっかけづくりは可能と考える。また、コロナによる自粛生活も、ある程度解放されつつある社会情勢を見極め、感染対策を施した事業展開を図る。</p>

・評価の基準:下記3段階で設定
「○」 現状値より増えた
「△」 現状維持

中目標	担当	指標	現状値 (令和元年度)	最終目標値	令和3年度目標 【最終目標値達成のために実施する事業(業務内容)】	主管課評価			評価推進委員会			
						令和3年度実績	実施内容 【目標達成のために実施した事業】	達成状況と課題	評価	評価と課題	評価	評価と課題
1	がんの予防を推進します	健康課 子育て世代へのがん予防教育実施回数	2回	増やす	・子育て広場や乳幼児健診など、集まる場へ出向き、がん予防教育を実施する。 ・SNSを活用し、がん予防についての情報発信を行う。	1回	●市内中学校で行った乳がんの集団検診にて乳がんモデルを用いてがん教育を実施した。 ●Facebookや市報にて、広報ひので、プレストアウェアネスについてとセルフチェックの重要性を周知した。	・コロナ禍の影響もあり、集まる場に出向くことが減ったが、今後は感染対策を講じながら、子育て世代へのがん教育を行う。 ・引き続きSNSを活用し、情報発信を行う。	△	【評価】 ・子育て世代へのがん予防教育実施回数については、実績としては減少してしまっただが、市内中学校に出向き乳がん集団検診が実施できたことは評価できるものであった。 ・禁煙教育実施回数については、回数や健康教育等、おおむね実施することができた。 【課題】 コロナ感染症対策を徹底し、また、SNSのさらなる活用により、取り組んでいく必要がある。	△	【評価】 ・人の集まるイベント開催が難しい中でも、いろいろな場所での情報発信に努力されていると思います。 ・禁煙教育の実施回数が増えたこと、市内中学校に出向いての乳がん集団検診の実施は評価できます。 【課題】 禁煙教育、特に若年者へのさらなる促進をお願いします。
		健康課 禁煙教育実施回数	4回	増やす	・がん検診、特定健診時に希望者へ禁煙相談、教育を実施する。	5回	●がん検診・特定健診・商工会での健康教育時、禁煙についての情報発信、健康教育を行った。	・引き続き、各検診等で禁煙についての情報発信、健康教育を行う。 ・禁煙について考えるきっかけをもてる機会が増えるよう検討する。				
2	がんの早期発見を推進します	健康課 乳がん検診受診率	20.2%	増やす	・対象者の世代に合わせて情報発信ツールを活用し、乳がんに関する正しい知識や検診の周知を図る。 ・プレストアウェアネスについて、30歳代の若い子育て世代へも周知する。	14.6%	●市ホームページでワクチン接種後の検診受診間隔について、正しい知識の発信した。 ●10月の乳がん月間にあわせて、広報ひので、プレストアウェアネスについてとセルフチェックの重要性を周知した。	・コロナ禍の影響もあるのか受診率が下がっている。 ・令和3年度に実施できなかった、30歳代の若い子育て世代への周知を今後行う。 ・受診率向上に向けて、今後も広報ひのや市LINE等で情報発信を行う。	×	【評価】 周知方法については、市LINEを使うなどの工夫をしたが、コロナ禍の影響もあり、現状値を大幅に下回る結果となった。がん検診については、大腸がん検診を除き、東京都内26市の中でも低い受診率となっており、がんの早期発見のために、さらなる対応が必要となる。 【課題】 受診率向上に向けて、受診勧奨の方法や勧奨対象等を他自治体の状況を把握しながら検討・実施していく必要がある。	×	【評価】 ・目標達成とはいかなかったが、現状を考えると仕方ないと思います。 ・LINEを利用したの発信方法はとても良いです。 【課題】 他市などの実施方法などの情報を参考にし、問題点を探すなどの努力が必要で
		健康課 子宮頸がん検診受診率	13.5%	増やす	・若い世代に対して、市LINEを使い受診者勧奨を行う。 ・50歳代に向けて受診勧奨通知を送る。	11.7%	●4月と10月に広報ひのに掲載した。 ●40歳になる方に受診勧奨はがきを送付した。	・コロナ禍の影響もあるのか受診率が下がっている。 ・受診率向上に向けて、令和3年度に実施できなかった、市LINEを使った受診勧奨と50歳代に向けて受診勧奨通知を行う。				
		健康課 大腸がん検診精密検査受診率	63.0%	増やす	・コロナ禍での受診控えが考えられるため、コロナ禍での受診の必要性を伝える。 ・精密検査方法について医療機関に働きかける。	53.2%	●精密検査未受診者に手紙、電話で状況確認及び受診勧奨を行った。 ●市ホームページやSNS等でのがん検診の周知啓発を行った。	・受診率向上にむけて、精密検査の必要性を市ホームページやSNSで発信していく。 ・精密検査受診率の日野市の現状を分析し、医師会等と課題を共有し、対応を考える。				
3	がんとの共生を図ります	在宅療養支援課 がんに関する相談・支援団体との連携	1団体	増やす	①市立病院 がんカフェでの保健師の派遣 ②在宅でのがんの緩和ケア講座の実施(ZOOM開催)	2団体	●がんカフェへ保健師が参加し、がん患者、家族のニーズ確認、相談 ●がんカフェ及び市立病院と緩和ケア講座を企画 ●ホームページにがんの相談支援体制等の情報をリニューアル更新 ●図書館と共催で在宅療養(がんも含む)企画展の実施 ●アピアランスケアについての調査	・緩和ケア講座はコロナ禍で中止になったが、図書館と共催して在宅療養(がんも含む)の企画展を実施。市民の関心も高く、図書やハンドブック等の問い合わせも多くあった。他機関と連携しながら情報発信をすることは有効であるため継続していくとともに新たな連携についても検討する。 ・相談、調査の中ではAYA世代のがんの支援についてが十分でないことが課題であり、今後も調査研究していく。	△	【評価】 がんに関する支援の場として、新たな連携ができたことは評価できる。 【課題】 がんに関する相談内容は多岐にわたるため、必要とする支援につながるようなコーディネート及び、情報提供・体制整備について検討を進める必要がある。	△	【評価】 厳しい状況にも関わらず、色々な工夫の結果で、目標の団体を増やす事が出来たのは評価します。 【課題】 がんとの共生を図るための連携機関について、よりPRに努め、市民への周知を図ってください。また、新たな連携機関との発信や課題を達するために必要な具体的方法を検討し、取り組んでいただきたいです。

・評価の基準：下記3段階で設定
 「○」 現状値より増えた
 「△」 現状維持
 「×」 現状値より減った

中目標	担当	指標	現状値 (令和元年度)	最終目標値	令和3年度目標 【最終目標値達成のために実施する事業(業務内容)】	主管課評価				評価推進委員		
						令和3年度実績	実施内容 【目標達成のために実施した事業】	達成状況と課題	評価	評価と課題	評価	評価と課題
1	健康課	かかりつけ歯科医を決めていない人	62.0%	減らす	ママパパクラス(沐浴コース)参加者へ配布するリーフレットや市ホームページ等を通して、かかりつけ歯科医の必要性について周知していく。	61.2%	●ママパパクラス(沐浴コース)で配布しているリーフレットで、「信頼できる歯科医を見つけること」に関する情報発信を行った。	・妊婦歯科健康診査の受診結果で「かかりつけ歯科医を決めていない人」はやや減少した。 ・ママパパクラス参加者だけでなく、より多くの妊婦にかかりつけ歯科医の重要性を周知する必要がある。	△	【評価】 実績としては現状維持であった。 【課題】 妊娠期の歯科の重要性を、より多くの方々に周知していきけるよう、これまで以上に、より多くの機会を捉え実施していくことが必要。	△	【評価】 コロナ禍で歯科受診を控える人が多い現状にも関わらず、少しでも目標をクリアしたことは評価できます。 【課題】 ・生まれてくる子どものむし歯のリスクを軽減するためには、家族全員がかかりつけ歯科医をもち、家族全員でむし歯予防に取り組むことの必要性を周知するなど、かかりつけ歯科医の定着にむけ動機付けの工夫をお願いします。
2	健康課	1歳6か月児健康診査で、保護者が毎日仕上げ磨きをしている子ども	96.5%	増やす	妊婦歯科健康診査や健康課事業等でリーフレットを配布し、お子さまの歯磨きについての情報発信をする。	95.7%	●仕上げ磨きの重要性に関するリーフレットを、乳幼児健康相談や1歳6か月児健康診査時に配布した。 ●健診時に仕上げ磨きを行っていない保護者に対し、歯科衛生士が個別指導を行った。	・引き続き、仕上げ磨きの重要性について周知を行う。 ・仕上げ磨きを行っていない保護者に対しては歯科専門職による支援を行う。	△	【評価】 評価項目としては、全体的に現状維持と評価する。 【課題】 乳幼児期の歯科については、保護者の意識・行動が非常に大切である。これまで以上に、歯科専門職を中心に、支援・周知の充実を図る必要がある。	△	【課題】 ・かかりつけ歯科医は、長年つきあい・信頼がうまれないと見つけられません。 ・保護者への情報発信を引き続きお願いします。 ・他自治体の取り組みなどを参考に、様々な手法にチャレンジしていただきたいと思えます。
	健康課	3歳児健康診査で、むし歯のない子ども	92.1%	増やす	1歳6か月児健康診査や市ホームページ・乳幼児歯科相談等を通して、早期から乳幼児期のむし歯予防についての情報発信をする。	94.2%	●1歳6か月児健康診査でむし歯になるリスクのあるお子さんに対し個別指導を行った。引き続き、3歳までにむし歯にならない様に仕上げ磨きの重要性や生活習慣に関する情報の周知を行う。	・むし歯のない子どもは増加傾向にあるが、一定数のむし歯を持つ子どもがいる。歯科医院に通院していない場合は、歯科専門職や必要に応じ保健師と連携し支援を行う。				
	健康課	3歳児健康診査で、甘い飲み物をほぼ毎日飲んでいる子ども	21.0%	減らす	1歳6か月児健康診査や市ホームページ・乳幼児歯科相談等を通して、甘い飲み物の摂取等に関する、生活習慣についての情報発信をする。	18.0%	●1歳6か月児健康診査で甘い飲み物のむし歯のリスクについてリーフレットを配布し周知を行った。	・リーフレットだけではなく、市ホームページ等を活用し情報発信を行っていく必要がある。				
	健康課	3歳児健康診査で、かかりつけ歯科医を持っている子ども	35.4%	増やす	1歳6か月児健康診査や市ホームページ・乳幼児歯科相談等を通して、乳幼児期からかかりつけ歯科医を持つことの必要性について周知する。	36.3%	●かかりつけ歯科医の重要性について健診時に情報提供を行った。 ●乳幼児歯科相談事業や乳幼児健康相談事業等においても定期健診の必要性について周知し、かかりつけ歯科医定着を図った。	・健診時の指導やリーフレットだけではなく、市ホームページ等を活用し情報発信を行っていく必要がある。				

・評価の基準：下記3段階で設定
 「○」 現状値より増えた
 「△」 現状維持
 「×」 現状値より減った

大目標	中目標	担当	指標	現状値 (令和元年度)	最終目標値	令和3年度目標 【最終目標値達成のために実施する事業(業務内容)】	令和3年度実績	主管課評価			評価推進委員			
								実施内容 【目標達成のために実施した事業】	達成状況と課題	評価	評価と課題	評価	評価と課題	
3	【学齢期・成人期】 子どもの歯肉炎予防・ 成人の歯周病予防に 努めます	学校課・ 健康課	中学1年生でむし歯のない子ども	77.5%	増やす	学校と学校歯科医の連携を密にとっていく。歯の大切さを伝えるために学校歯科医による歯の磨き方の指導等を行う。	79.7%	●学校歯科医による歯科講話を実施し、パワーポイントやDVDを生徒に見せ、歯の大切さについて指導を行った。 ●生徒からの歯に関する質問にも、丁寧に回答した。	・引き続き、歯の大切さについて講話を行っていくとともに、歯磨き指導を行える状況になった際には、歯の染め出しや磨き方の指導をする。(学校課) ・養護教諭をはじめとした関係機関との連携を強化し、取り組む必要がある。(健康課)	○	【評価】 コロナ禍の影響もあり満足いく活動ができなかった部分もあったが、「お口の健康診査の受診率」指標以外は、目標値を達成したことは評価できる。 【課題】 引き続き、周知啓発活動や受診勧奨の充実を図っていく。	○	【評価】 コロナ禍の影響が大きい中で各項目とも概ね良い実績を上げていると思います。 【課題】 「お口の健康診査」ではここ数年のコロナの影響で受診抑制が続いているが引き続き続けることで市民への周知も実ってくると思います。	
		学校課・ 健康課	中学1年生で歯肉に異常のない子ども	78.4%	増やす	受診勧奨を積極的に行う。歯周病が原因で二次的に引き起こす病気(脳梗塞、心筋梗塞等)について児童・生徒に伝え、歯の治療の大切さを理解させる	87.4%	●受診結果票が返ってこない児童生徒に対しては、秋頃に再度受診勧奨を行った。	・年2回の受診勧奨を行ったが、受診率としては、約半数であった。引き続き、受診勧奨を行っていくとともに、歯科講話などを通して、治療の大切さを伝えていく必要がある。(学校課) ・養護教諭と連携を図り、情報発信の場を増やし、早期受診につなげる必要がある。(健康課)					
		健康課	お口の健康診査の受診率	8.9%	増やす	作成したリーフレットを受診券と一緒に対象者に送付し、受診の重要性を周知する。ポスターを関係機関に掲示してもらい周知を図る。	7.1%	●歯周病と全身疾患との関わり等のリーフレットを作成し、受診券と一緒に送付した。 ●ポスターを作成し、市内の薬局及び関係機関に掲示してもらい周知を図った。	・コロナ禍の影響もあり、受診が増えていない。医療機関への受診控えも影響していると考えられる。 ・今後は、状況を見据えながら、受診勧奨や啓発活動を再開し、受診率向上を目指して取り組んでいく。					
		健康課	お口の健康診査受診者で、かかりつけ歯科医を持つ方	59.8%	増やす	お口の健康診査時の健康教育や広報ひのを通じて、かかりつけ歯科医を持ち定期的に歯科健診や予防処置を受けることの重要性を周知する。	70.9%	●お口の健康診査時の健康教育や広報掲載の健康コラムにて、かかりつけ歯科医を持つことの大切さや定期受診の重要性を周知した。	・コロナ禍の影響もあり、地域に出向いての健康教育の機会が減っていたが、今後は状況を見据えながら、対面での周知・啓発活動を増やす。					
4	【高齢期】 口腔機能の維持向上を 推進します	お口の健康診査の受診率												
		健康課	後期高齢者歯科健診受診率	9.6%	増やす	高齢者の特性を踏まえ、口腔機能の低下の恐れがある方のスクリーニングができる健診への見直しを検討する。	7.9%	●関係部署や関係機関と調整し、健診について検討を行った。 ●検討にあたり学識経験者を呼び、健診概要について構築した。	・令和5年度開始に向け、引き続き関係機関と連携を取りながら健診体制を組み立てる。 ・また、受診率向上に繋げるため、口腔機能の重要性について周知啓発を図る。	△	【評価】 受診率については、実績として下がってしまった。一方、かかりつけ歯科医については目標を達成することができた。この結果を参考に、令和5年度から予定している新たな健診では、実績が上がるよう取り組んでいきたい。 【課題】 後期高齢者歯科健診は、これまで、74歳までのお口の健康診査(歯周病検診)の延長として実施してきた。周辺自治体と比較し、決して低い受診率ではないが、さらに多くの健診受診者及びかかりつけ歯科医の定着が必要である。これらの課題を解決していくため、令和4年度には高齢者の保健事業と介護の一体的事業によるハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチの実施、また令和5年度からは健診内容等を変更し、高齢者の口腔機能の維持向上を図る。	△	【評価】 努力されていると感じます。新たな活動に期待しています。 【課題】 高齢者の保健事業と介護の一体的事業によるハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチによる取り組みを推進し、事業内容の拡大にも努めてください。	
		お口の健康診査受診者で、かかりつけ歯科医を持つ方												
健康課	後期高齢者歯科健康診査受診者で、かかりつけ歯科医を持つ方	44.5%	増やす	後期高齢者歯科健康診査時の健康教育を通じて、かかりつけ歯科医を持ち定期的に歯科健診や予防処置を受けることの重要性を周知する。	53.0%	●お口の健康診査時の健康教育や広報掲載の健康コラムにて、かかりつけ歯科医を持つことの大切さや定期受診の重要性を周知した。	・コロナ禍の影響もあり、地域に出向いての健康教育の機会が減っていたが、今後は状況を見据えながら、対面での周知・啓発活動を増やす。							